

株主・投資家のみなさまへ

第115期 第2四半期ビジネスレポート

2016年4月1日～2016年9月30日

証券コード: 6516

<http://www.sanyodenki.co.jp>

SANYO DENKI

115th



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

第115期の第2四半期のビジネスレポートのお届けにあたりまして、ひとことごあいさつを申し上げます。

当社グループでは、今年の4月に第8次中期経営計画を開始いたしました。

この計画では、

- 1 品質・性能・信頼性において、「世界一の製品」を絶え間なく開発し続けること。
- 2 世界中のお客さまに、均一で高品質な製品やサービスを提供するために、すべてのグループ会社がその経営方針を同一にして「ボーダーレス」の営業体制にすること。
- 3 すべての情報の流れを「リアルタイム」にし、世界中どこからでも、企業活動に関わる現在のあらゆる状況を把握できるようにすること。

- 4 生産効率を高め、品質を向上させ、あわせて在庫の削減や生産管理に役立つ「工場の自動化」を構築すること。

を目指し、それぞれの具体的な施策を開始いたしました。

当第2四半期における新製品の開発は、後述のとおり、性能・省エネ・信頼性などで業界No.1を誇れる競争力のある多くの製品が、計画どおりに完成いたしました。

また、世界中のグループ会社が日本の山洋電気と同等の機能を果たせるように、各拠点にテクニカルセンターを設立し、お客さまの近くでの技術支援、研修会、アフターサービス、製品のカスタマイズができるようにいたしました。

しかしながら、当第2四半期は景気の回復が遅れ、当社の主要な市場のひとつであるFA業界に大きく影響したことにより、事業の結果は後述のとおりとなりました。

当第2四半期末の配当金につきましては、前年同期同様、1株あたり9円といたしました。

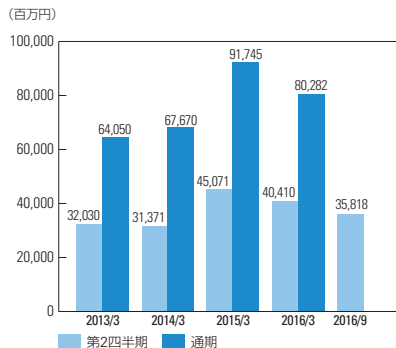
株主のみなさまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2016年12月

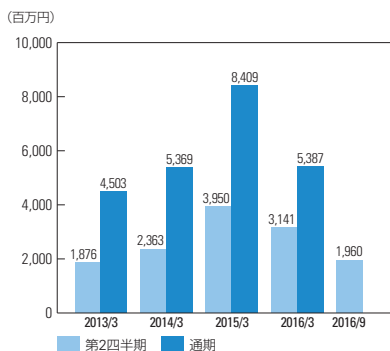
代表取締役兼社長 山本茂生

財務ハイライト

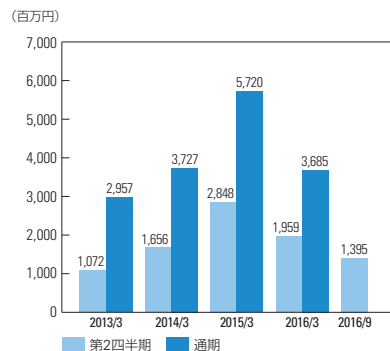
●売上高



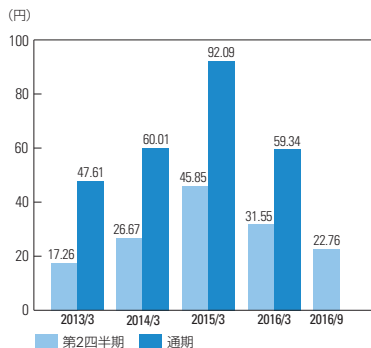
●経常利益



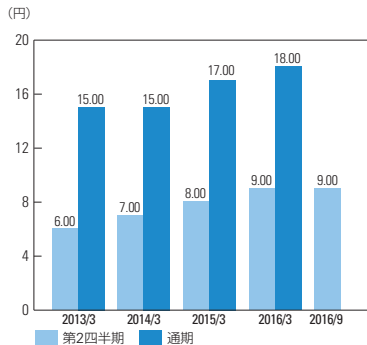
●親会社株主に帰属する当期純利益



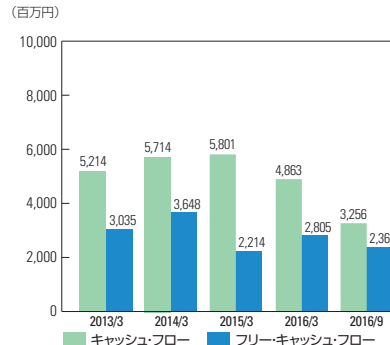
●1株当たり当期純利益



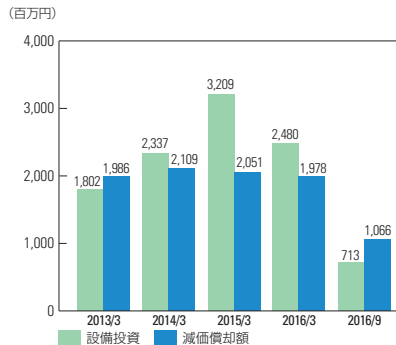
●1株当たり配当金



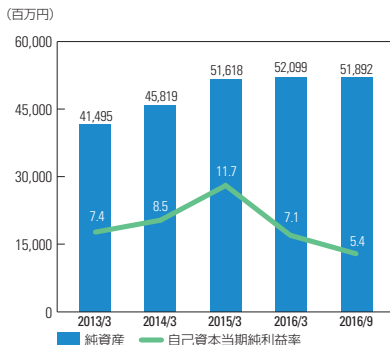
●キャッシュ・フロー/フリー・キャッシュ・フロー



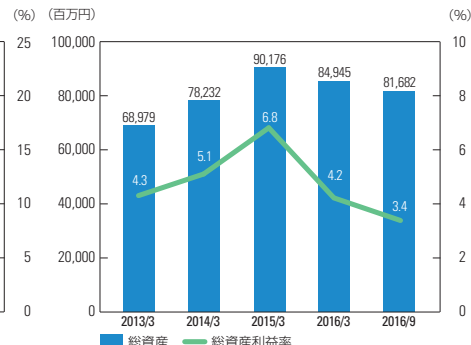
●設備投資/減価償却額



●純資産/自己資本当期純利益率



●総資産/総資産利益率



※従来、連結財務諸表の作成にあたっては、海外連結子会社14社の3ヶ月前の財務諸表を使用し、連結会計上必要な調整をおこなっていましたが、連結財務諸表のより正確な把握を図るために、2015年3月期より海外連結子会社においても当社と同時期の財務諸表を使用する方法に変更しています。このため、2015年3月期実績には、海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの3ヶ月間の業績も含まれています。

営業概況

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、円高の進展や新興国経済の減速などの影響により、輸出が伸びなやみ、設備投資も鈍化するなど停滞が続きました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である設備産業業界において工作機械向けの需要が停滞したほか、太陽光発電用パワーコンディショナ向け需要が減少しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は35,818百万円（前年同期比11.4%減）となり、連結営業利益は2,329百万円（前年同期比23.4%減）、連結経常利益は1,960百万円（前年同期比37.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,395百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

受注高は36,452百万円（前年同期比9.4%減）、受注残高は12,538百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

売上高

358億18百万円 前年同期比**11.4%減**

営業利益

23億29百万円 前年同期比**23.4%減**

経常利益

19億60百万円 前年同期比**37.6%減**

親会社株主に帰属する四半期純利益

13億95百万円 前年同期比**28.8%減**

受注高

364億52百万円 前年同期比**9.4%減**

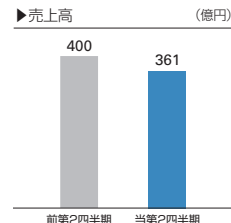
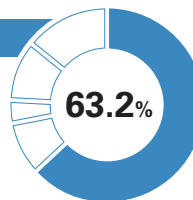
受注残高

125億38百万円 前年同期比**0.1%減**

セグメント別の業績

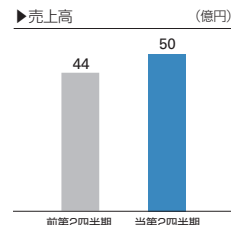
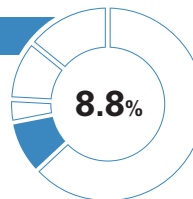
日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社がいます。セグメント売上高は36,109百万円（前年同期比9.8%減）となり、セグメント利益は1,461百万円（前年同期比32.8%減）となりました。



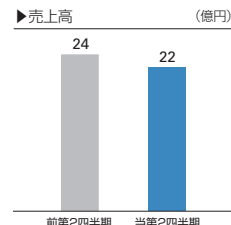
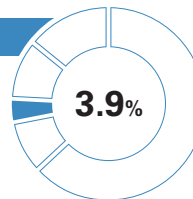
北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA,INC.があります。セグメント売上高は5,024百万円（前年同期比12.5%増）となり、セグメント利益は422百万円（前年同期比140.0%増）となりました。



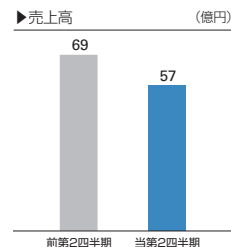
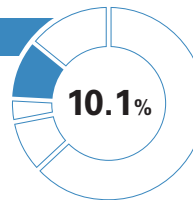
ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A.およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は2,220百万円（前年同期比8.8%減）となり、セグメント利益は171百万円（前年同期比5.1%減）となりました。



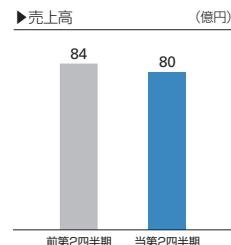
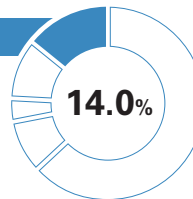
東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）贸易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台灣山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO.,LTD.および山洋電気（上海）贸易有限公司の子会社である上海山洋電気技术有限公司、山洋電気（香港）有限公司の子会社である山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋电气有限公司、山洋電気精密機器维修（深圳）有限公司があります。セグメント売上高は5,770百万円（前年同期比16.7%減）となり、セグメント損失は54百万円（前年同期はセグメント利益182百万円）となりました。



東南アジア

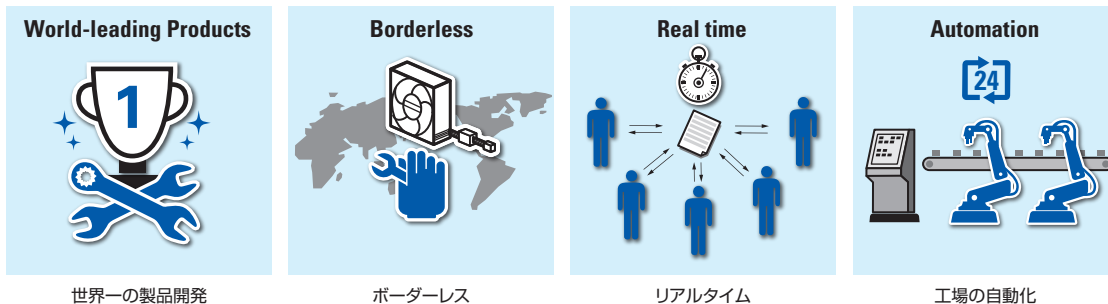
東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES,INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE.LTD.,SANYO DENKI INDIA PRIVATE LIMITEDおよびSANYO DENKI SINGAPORE PTE.LTD.の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO.,LTD.があります。セグメント売上高は8,041百万円（前年同期比5.0%減）となり、セグメント利益は145百万円（前年同期比34.9%減）となりました。



第8次中期経営計画がスタート

当期より、第8次中期経営計画をスタートさせました。期間は2016年4月から2021年3月までの5年間です。

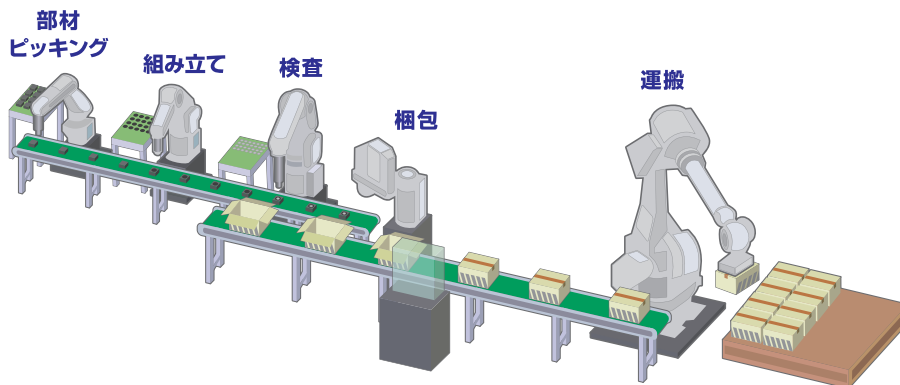
第8次中期経営計画では、「山洋電気グループ全体が、グローバル企業を目指し、“世界のトップブランド”を構築する。」ことを目的に、「世界一の製品開発」「ボーダーレス」「リアルタイム」「工場の自動化」の4つの施策に取り組んでいきます。



生産革新の取り組み

生産効率を高め、品質を一層向上させるために、工場の自動化の取り組みをスタートしました。

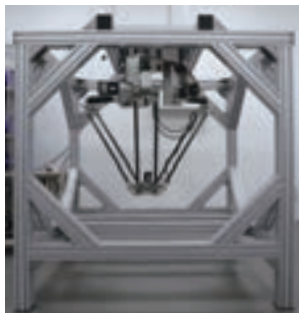
自社製のロボットを活用し、生産効率を高めるだけでなく、在庫の削減や生産管理にも役立つ自動化システムを構築します。



自動化システム(完成イメージ)

テクニカルセンターの本格稼働

世界8ヶ国（日本（大阪）、アメリカ、中国（上海・深圳）、台湾、シンガポール、タイ、ドイツ、フランス）にテクニカルセンターを開設しました。お客さまの近くで、それぞれの地域に合った技術支援や研修会の開催、アフターサービス、製品のカスタマイズをおこないます。



テスト用ロボット



カスタム製品の製作

自己株式の取得

経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を遂行することを目的として、自己株式の取得を実施しました。

概要

取得した株式の総数	957,000株
単価	535円
取得総額	511,995,000円
取得日	2016年5月26日

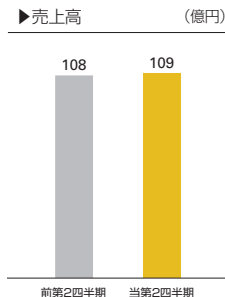
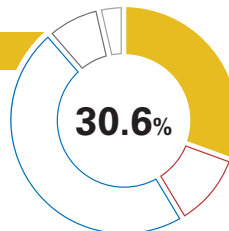
事業部門別の業績

事業部門別の営業業績は次のとおりです。

クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、情報通信向けやデータセンタ用サーバおよびファクトリーオートメーション業界向けの需要が増加しました。一方、太陽光発電用パワーコンディショナ向けの需要が減少しました。

その結果、売上高は10,961百万円（前年同期比1.4%増）、受注高10,709百万円（前年同期比0.3%減）、受注残高2,945百万円（前年同期比2.9%増）となりました。



二重反転ファン **新製品**

●San Ace 9CRAタイプ

業界トップ※1の高静圧1,650Paを実現した、92mm角×76mm厚の二重反転ファンです。

サーバ、ストレージ、通信機、実装装置など、実装密度の高い装置の冷却に最適です。

※1 2016年11月現在。同サイズの産業用ファンと比較した場合。当社調べ。



ブラケット付き遠心ファン **新製品**

●San Ace 9B1Tタイプ

インレットノズル※1が一体となった、ブラケット※2付き遠心ファンです。270mm角×99mm厚、270mm角×119mm厚の2タイプをラインアップしました。

遠心ファンの特性を発揮するには、ファンにインレットノズルを正確に取り付ける必要があります。ブラケット付き遠心ファンでは、ファン、インレットノズル、取付用ケースが一体となっているため、取付精度によるファンの性能の低下やばらつきがなくなり、ファンの特性を最大限に発揮できます。

空気清浄機、産業用送風機、工業用エアコン、インバータ、通信機器、熱交換器などに最適です。

※1 吸引される空気の流れを整えるために、ファン吸込側に取り付けるノズル。

※2 取付用のケース。



270mm角×99mm厚



270mm角×119mm厚

遠心ファン 新製品

● San Ace 9Tタイプ

業界トップ^{※1}の高風量を実現したφ175mm×69mm厚の遠心ファンです。
通信機，大型インバータ，冷凍ユニット，集塵機，空調機などに最適です。

※1 2016年11月現在。同サイズの産業用ファンと比較した場合。当社調べ。



周辺機器 新製品

● San Ace エアフローテスター

装置内の通風抵抗^{※1}と風量を測定し，装置に最適なファンを選定できる小型測定機です。
約6kgと小型で持ち運びができるため，測定のために大型の装置を移動させる必要がありません。
持ち運びが可能なサイズは業界初です。

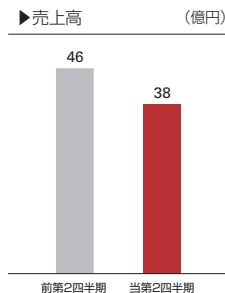
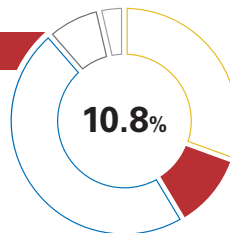
※1 装置内部の風の流れにくさ。



パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は，太陽光発電の固定価格買取制度に起因する市場の低迷により，パワーコンディショナの需要が減少しました。一方，エネルギー管理指定工場などの産業設備装置向け無停電電源装置の需要の一部に活気が見られました。

その結果，売上高は3,875百万円（前年同期比16.1%減），受注高4,615百万円（前年同期比24.5%減），受注残高2,999百万円（前年同期比20.7%減）となりました。



太陽光発電システム用パワーコンディショナ

●SANUPS P73K

リチウムイオン蓄電池と組み合わせることで電力のピークカットができる、太陽光発電システム用パワーコンディショナです。

太陽光発電と蓄電池を組み合わせることで、需要に合わせて電力を最適に制御します。



10kW

30kW

常時インバータ給電方式UPS

●SANUPS A11J

アジア・欧州市場向けに開発した、三相4線・入力電圧AC400V系の無停電電源装置（UPS）です。

停電や電圧低下が起きても、無瞬断で電力を供給できます。



●SANUPS A11K

業界トップ^{※1}の高効率92%を達成した常時インバータ給電方式の無停電電源装置（UPS）です。

停電や電圧低下が起きても無瞬断で電力を供給でき、さらに入力電圧の範囲が定格の-40%～+20%^{※2}と、ワイドレンジです。

ランニングコストを低減し、省エネルギーに貢献します。



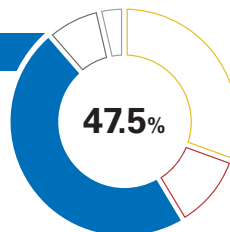
※1 2016年11月現在。常時インバータ給電方式UPSで、同等の電圧・容量の場合。当社調べ。

※2 負荷率70%未満の場合。負荷率100%の場合は、定格の-20%～+20%。

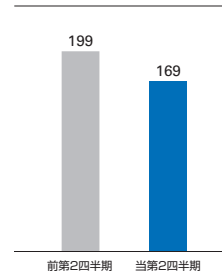
サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、スマートフォン市場などの低迷により、工作機械向けの需要が停滞しました。一方、半導体製造装置およびロボット向けの需要は、引き続き堅調に推移しました。

その結果、売上高は16,995百万円（前年同期比14.9%減）、受注高17,529百万円（前年同期比2.8%減）、受注残高5,429百万円（前年同期比26.4%増）となりました。



▶売上高 (億円)



ACサーボモータ 新製品

●ACサーボモータ SANMOTION R

業界トップ^{※1}の加速力と減速力を実現した、小型・軽量で高出力のACサーボモータです。俊敏な動きができるため、ばね成形機、プリント板穴あけ機、ロボットなどに最適です。

※1 2016年11月現在。類似形状のACサーボモータと比較した場合。当社調べ。



フランジサイズ100mm角



フランジサイズ130mm角

リニアサーボシステム **新製品**

●リニアサーボシステム **SANMOTION** センターマグネットタイプ・ツインタイプ

リニアサーボシステム「SANMOTION」のラインアップを拡充し、業界初のセンターマグネットタイプと、業界トップ^{※1}の加速度を実現したツインタイプを開発しました。

センターマグネットタイプは、モータ自身で磁気吸引力を打ち消すことができ、装置の構造を簡素化できます。また、両タイプともに、25Gの業界トップ^{※1}の加速度を実現しました。装置を高速に駆動でき、タクトタイムと生産性の向上に貢献します。

半導体製造装置、液晶ディスプレイ製造装置、チップマウンタ、ボンダ、搬送装置などに最適です。

※1 2016年11月現在。類似形状のコア付リニアサーボモータと比較した場合。当社調べ。



モーションコントローラ **新製品**

●EtherCAT インタフェース搭載 モーションコントローラ「SANMOTION C」

モーションコントローラ「SANMOTION C」に、高速フィールドバス^{※1} EtherCATインタフェースを搭載し、CPUの処理能力を高めたモデルを開発しました。

1台のコントローラで、2台の6軸多関節ロボットを制御できます。また、100Mbpsの高速かつ信頼性の高い通信ができるフィールドバスにより、より精度の高い制御を実現しました。

ロボット、搬送装置、半導体製造装置、一般産業機器に最適です。

※1 装置とコントローラ間の信号のやり取りを、デジタル通信を用いておこなう規格のこと。

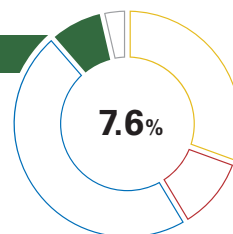


電気機器販売事業

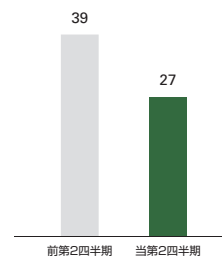
産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売のうち、海外向けの太陽光発電用制御盤の需要は大きく減少しましたが、医療機器向けの需要が回復基調となり、また一般産業向けも堅調に推移しました。

鉄鋼関連事業においては、老朽化した生産設備機器の更新工事関連の需要は引き続き旺盛でした。

その結果、売上高は2,729百万円（前年同期比31.1%減）、受注高2,512百万円（前年同期比39.3%減）、受注残高577百万円（前年同期比31.1%減）となりました。



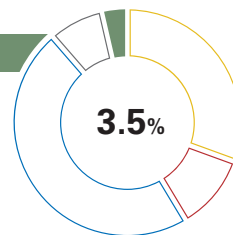
▶売上高 (億円)



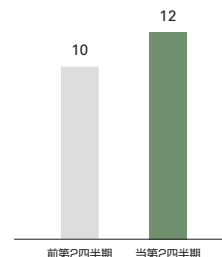
電気工事事業

製鉄所内における工場設備の更新工事および補修工事は、計画どおりに実施されました。一方、太陽光発電設備の工事は、太陽光発電の買取価格の低下の影響により受注、売上とも減少しました。

その結果、売上高は1,257百万円（前年同期比18.8%増）、受注高1,084百万円（前年同期比10.2%減）、受注残高585百万円（前年同期比23.7%減）となりました。



▶売上高 (億円)



連結 貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2016年 9月30日現在	前年度末 2016年 3月31日現在	増減額		当第2四半期末 2016年 9月30日現在	前年度末 2016年 3月31日現在	増減額
資産の部				負債の部			
流動資産	52,174	55,339	△ 3,165	流動負債	23,114	25,839	△ 2,725
固定資産	29,507	29,606	△ 99	固定負債	6,675	7,007	△ 332
有形固定資産	19,471	20,388	△ 917	負債合計	29,790	32,846	△ 3,056
無形固定資産	493	489	4	純資産の部			
投資その他の資産	9,542	8,728	814	株主資本	50,789	50,466	323
資産合計	81,682	84,945	△ 3,263	その他の包括利益累計額	1,097	1,626	△ 529
				非支配株主持分	5	6	△ 1
				純資産合計	51,892	52,099	△ 207
				負債純資産合計	81,682	84,945	△ 3,263

連結 第2四半期損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期 2016年4月1日～ 2016年9月30日	前第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	増減額
売上高	35,818	40,410	△ 4,592
売上原価	27,415	30,762	△ 3,347
売上総利益	8,403	9,648	△ 1,245
販売費及び一般管理費	6,074	6,606	△ 532
営業利益	2,329	3,041	△ 712
営業外収益	194	189	5
営業外費用	563	90	473
経常利益	1,960	3,141	△ 1,181
税金等調整前四半期純利益	1,868	3,141	△ 1,273
法人税等	473	1,181	△ 708
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,395	1,959	△ 564

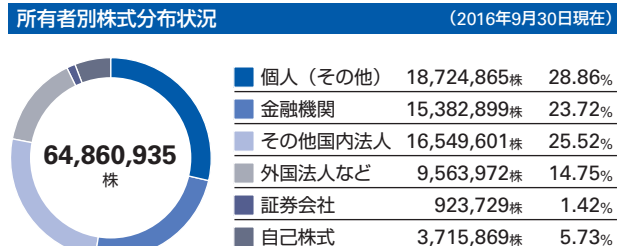
連結 第2四半期キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位：百万円)

	当第2四半期 2016年4月1日～ 2016年9月30日	前第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,256	1,858	1,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 894	△ 761	△ 133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,617	△ 1,330	△ 287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 751	△ 66	△ 685
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 6	△ 300	294
現金及び現金同等物の期首残高	12,743	13,151	△ 408
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,737	12,851	△ 114

株式総数および株主数 (2016年9月30日現在)	
発行可能株式総数	250,000,000株
発行済株式の総数	64,860,935株
当第2四半期末株主数	5,236名

大株主 (2016年9月30日現在)		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
協同興業株式会社	9,229	14.23
株式会社みずほ銀行	2,274	3.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,795	2.77
山洋開発株式会社	1,594	2.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,548	2.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,364	2.10
日本生命保険相互会社	1,339	2.06
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,195	1.84
株式会社八十二銀行	975	1.50
三井住友信託銀行株式会社	970	1.50

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式3,715千株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。



会社概要 (2016年9月30日現在)	
会社名	山洋電気株式会社
創業	1927年8月
本社所在地	〒170-8451 東京都豊島区南大塚3-33-1 TEL 03-5927-1020
資本金	99億円
社員数	3,121名 (グループ全体)

グループ会社 (2016年9月30日現在)	
日本	山洋工業株式会社 山洋電気テクノサービス株式会社
アジア	SANYO DENKI PHILIPPINES, INC. 中山市山洋电气有限公司 山洋电气 (上海) 贸易有限公司 上海山洋电气技术有限公司 山洋電気 (香港) 有限公司 山洋电气贸易 (深圳) 有限公司 山洋电气精密机器维修 (深圳) 有限公司 台湾山洋電気股份有限公司 SANYO DENKI KOREA CO., LTD. SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. SANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. SANYO DENKI INDIA PRIVATE LIMITED
北アメリカ	SANYO DENKI AMERICA, INC.
ヨーロッパ	SANYO DENKI EUROPE S.A. SANYO DENKI GERMANY GmbH

取締役および監査役 (2016年9月30日現在)	
※代表取締役	山本 茂生
※取締役	田村 薫
※取締役	児玉 展全
※取締役	松本 吉正
取締役	三宅 雄一郎
取締役	鈴木 徹
取締役	諏訪 宏
常勤監査役	畑中 佐近
常勤監査役	天野 文雄
監査役	小倉 久幸
監査役	山本 武

※印の取締役は、執行役員を兼務

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年4月1日から起算し3ヶ月以内
期末配当受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当受領株主確定日	毎年9月30日
公告の方法	電子公告の方法によりおこないます。 (やむを得ない事由によって電子公告による 公告をすることができない場合は、日本経済 新聞に掲載しておこないます。)
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町1-2-4 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町1-2-4 日本証券代行株式会社 本店
お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉2-8-4 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

●各種手続のご連絡先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人へご連絡ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定など証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へご連絡ください。

- ※証券会社をご利用でない株主さまへ
特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へご連絡ください。
- ※旧山洋工業株式会社の株主さまへ
2016年12月1日をもって、特別口座に関するすべてのお問い合わせ先は、日本証券代行株式会社となりました。

特別口座での手続用紙のご請求はインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス

《日本証券代行》<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

当社「IR情報」ホームページアドレス

<http://www.sanyodenki.co.jp/ir/index.html>

本ビジネスレポートには、業績予想などに関する記述が含まれておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

山洋電気株式会社

本社 〒170-8451 東京都豊島区南大塚3-33-1
電話 (03) 5927 1020
ホームページ <http://www.sanyodenki.co.jp>